

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
29年 6月 30日	
愛知県知事 殿	
提出者	
住 所	名古屋市中区錦1-5-11 名古屋伊藤忠ビル9階
氏 名	飛島建設(株)名古屋支店 支店長 坂 晃 吉 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号	052-218-5760
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	飛島建設(株) JS一宮ケーソン作業所他6か所
事業場の所在地	一宮市公園通3-23-2他6か所
計画期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合建設業
②事業の規模	平成28年度完成工事高 255,757万円
③従業員数	95名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（平成28年度）実績】		別紙のとおり
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) がれき類、木くず等は再生中間処理業者に委託し、再生処理された品物を再利用するよう指導している。		
②計画	【目標】別紙に通り		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) がれき類、木くず等の再生処理委託の推進を図る。 梱包材等を極力持ち込まない様、納入業者に要請する。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラ、金属くず、紙くず等を分別し、再生委託や有価物処理、資源回収に取り組んでいる		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 混合廃棄物を更に分別や選別し、排出量の削減を図る。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	－ t	－ t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	－ t	－ t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

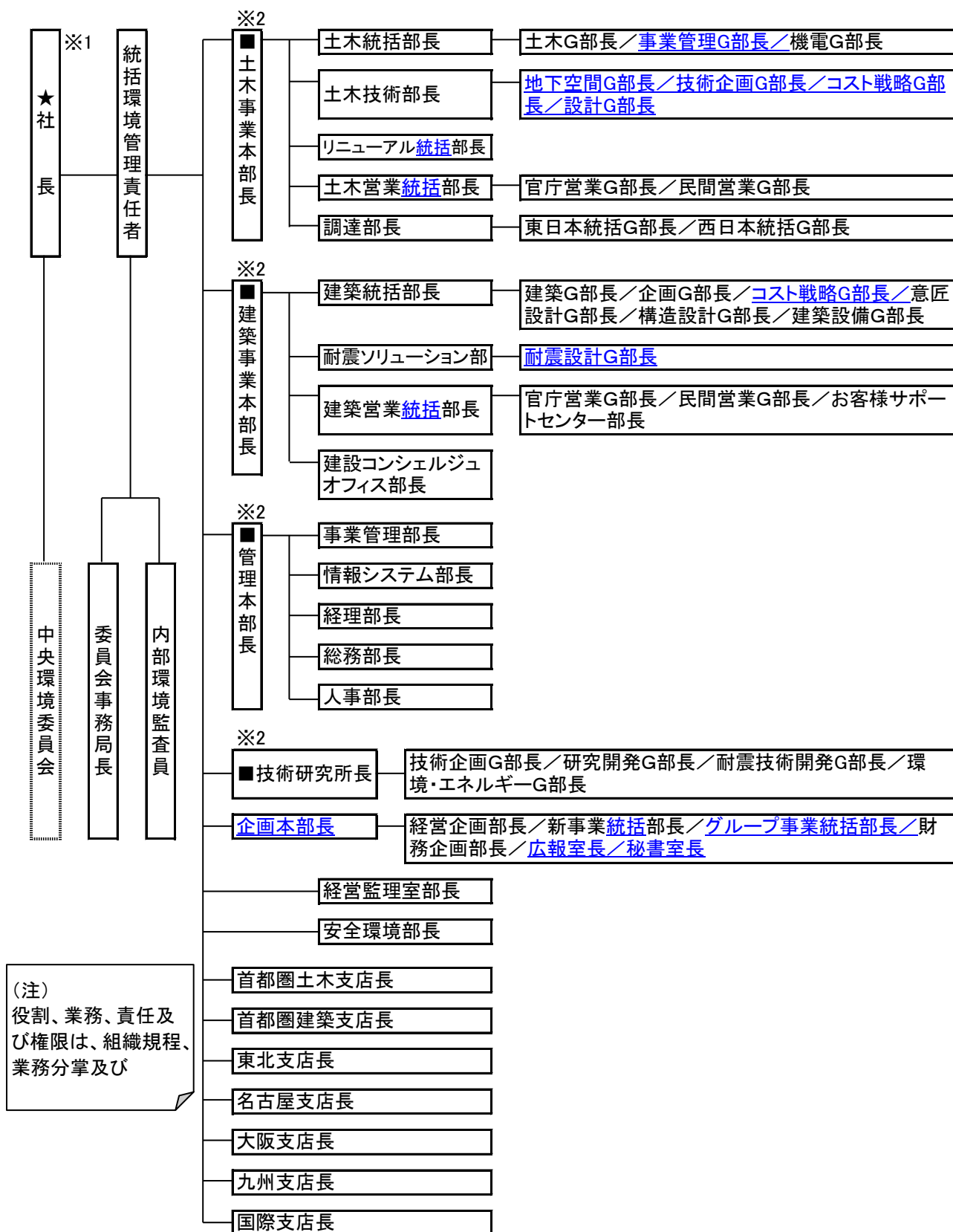
①現状	【前年度（平成28年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) がれき類、木くず等は再生中間処理業者に委託。		

②計画	【目標】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 再生中間処理業者への処理委託の推進を図る。 資材納入業者に梱包材の搬入量削減について指導する。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

付表－2 全社EMS運用組織図（1）本社



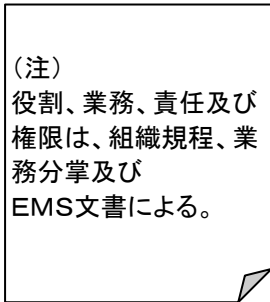
※1 ★は環境方針策定者を示す。

※2 ■は環境目標設定展開者を表す。

※3 オフィス部門は管理本部と本社全部署

※ Gはグループを示す。

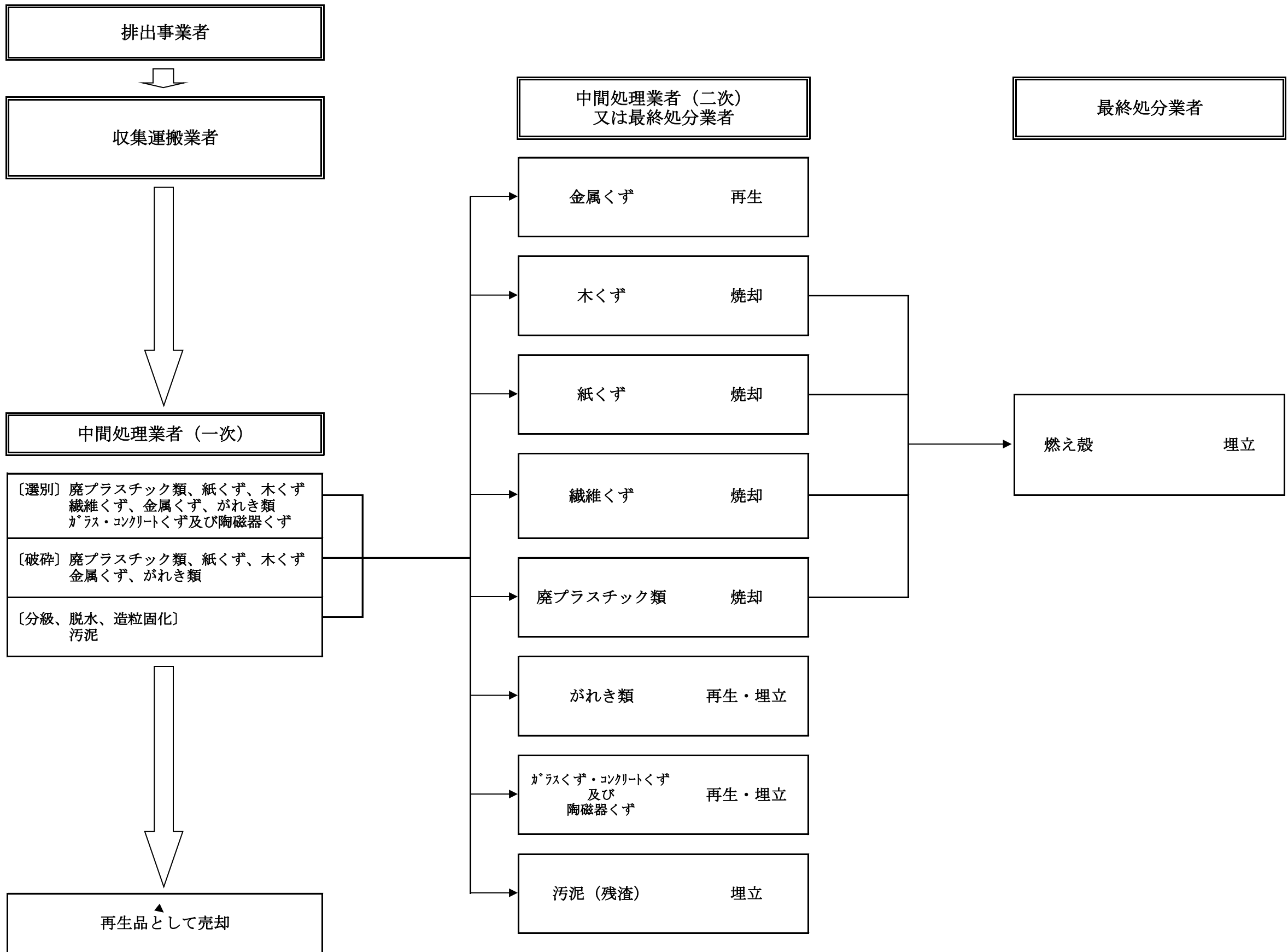
※ 国際支店は海外企業活動のため、社長方針の周知のみ展開。



支店及び支店の 関連事業所	
首都圏土木支店	東京支店(営業所)
	札幌支店(営業所)
	横浜営業所
	千葉営業所
	埼玉営業所
	宇都宮営業所
	八王子営業所
	新潟営業所
首都圏建築支店	東京支店(営業所)
	札幌支店(営業所)
	横浜営業所
	千葉営業所
東北支店	盛岡営業所
	福島営業所
	秋田営業所
名古屋支店	長野営業所
	静岡営業所
	岐阜営業所
大阪支店	北陸支店(営業所)
	四国統括営業所
	金沢営業所
	富山営業所
	奈良営業所
	神戸営業所
	京都営業所
	滋賀営業所
	松山営業所
九州支店	中国支店(営業所)
	岡山営業所
	鹿児島営業所
	沖縄営業所
	山口営業所


```
graph TD; A[排出事業者] --> B[収集運搬業者]; B --> C[中間処理業者（一次）]; C --> D[再生品として売却]; C --> E[中間処理業者（二次）又は最終処分業者]; E --> F[金属くず 再生]; E --> G[木くず 焼却]; E --> H[紙くず 焼却]; E --> I[繊維くず 焼却]; E --> J[廃プラスチック類 焼却]; E --> K[がれき類 再生・埋立]; E --> L[ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず 再生・埋立]; E --> M[汚泥（残渣） 埋立]; G --> N[燃え殻 埋立]; H --> N; I --> N; J --> N; F --> O[最終処分業者]; K --> O; L --> O; M --> O;
```

The flowchart illustrates the waste management process. It begins with the '排出事業者' (Disposer) sending waste to the '収集運搬業者' (Collection and Transporter). The waste then goes to the '中間処理業者（一次）' (Primary Intermediate Processor), which can either sell it as '再生品として売却' (Recycled products for sale) or send it to the '中間処理業者（二次）又は最終処分業者' (Secondary Intermediate Processor or Final Disposer). The secondary processor handles various waste types: '金属くず' (Metal scrap) is recycled; '木くず' (Wood scrap), '紙くず' (Paper scrap), '繊維くず' (Fiber scrap), and '廃プラスチック類' (Waste plastics) are incinerated. 'がれき類' (Debris) and 'ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず' (Glass scrap, concrete scrap, and ceramic scrap) are recycled or landfilled. '汚泥（残渣）' (Sludge/residue) is landfilled. The incineration process produces '燃え殻' (Incineration residue), which is landfilled. Finally, the '最終処分業者' (Final Disposer) handles the landfilled waste.



作 業 所 環 境 管 理 組 織 表

平成 年 月 日

作 業 所 環 境 委 員 会	環 境 管 理 責 任 者 （ 作 業 所 長 ）	
	作業所長名記入	環境行動計画実施責任者 教育訓練責任者
	環 境 管 理 責 任 者 代 理	
	主任名記入	教育訓練実施責任者 文書記録管理責任者
	環 境 管 理 実 務 担 当 者	
		監視測定責任者(水質、振動、騒音、その他)
		廃棄物管理責任者
		教育訓練実施担当者
	日常管理点検担当者（低振動・騒音機械使用他）	
協 力 会 社 代 表 者		

作業所の環境管理の責任者として環境管理に関する方針の立案と推進を行う。作業所環境保全推進委員会を運営する。

環境管理責任者を補佐し、環境管理に関する活動計画の策定と環境管理や産業廃棄物適正処理の実施を指示する。

作業所の環境管理に関する実務を行う。

産 業 廃 棄 物 処 理 責 任 者	特別管理産業廃棄物管理責任者
産業廃棄物処理施設・技術管理者	

網掛け：届出施設・作業がある場に記入する。

作 業 所

産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）

産業廃棄物の種類		がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラ	金属くず	汚泥	紙くず	木くず	混合廃棄物	その他	合計	
排出抑制		前年度排出量（実績）	15,674	227	142	0	428	2	174	47	24	16,718
		本年度排出量（計画）	12,000	200	100	10	300	10	50	50	50	12,770
自ら再生利用を行った（行う）量		前年度実績	0	0	0	0	0	0	0	0		0
		計画（目標）	0	0	0	0	0	0	0	0		0
中間処理を行う	自ら熱回収を行った（行う）量	前年度実績	0	0	0	0	0	0	0	0		0
		計画（目標）	0	0	0	0	0	0	0	0		0
	自ら中間処理により減量した（する）量	前年度実績	0	0	0	0	0	0	0	0		0
		計画（目標）	0	0	0	0	0	0	0	0		0
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った（行う）量		前年度実績	0	0	0	0	0	0	0	0		0
		計画（目標）	0	0	0	0	0	0	0	0		0
処理の委託	全処理委託量	前年度実績	15,674	227	142	0	428	2	174	47	24	16,718
		計画（目標）	12,000	200	100	10	300	10	50	50	50	12,770
	優良認定処理業者への処理委託量	前年度実績	10	61	13	0	216	2	15	0		317
		計画（目標）	50	50	30	10	250	10	30	30		460
	再生利用業者への処理委託量	前年度実績	15,128	136	85	0	385	2	174	28		15,938
		計画（目標）	10,000	100	50	10	300	10	50	30		10,550
	認定熱回収業者への処理委託量	前年度実績	0	0	0	0	0	0	0	0		0
		計画（目標）	0	0	0	0	0	0	0	0		0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	前年度実績	0	0	0	0	0	0	0	0		0
		計画（目標）	0	0	0	0	0	0	0	0		0

【記載方法】

- ・各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の上段に前年度の実績（現状）を下段に本年度の目標（計画）の産業廃棄物の量を記載してください。
- ・「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入し、下段に記載のそれぞれの内訳を記載してください。
- ・「自ら再生利用を行った（行う）量」の欄は、自ら直接再生利用した量と自ら中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- ・「自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った（行う）量」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分をした量を記載してください。